令和７年度

地域とともにある学校づくり

保谷第一小学校　３年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：（活動名）「保谷地いきを地図を使って調べよう」

ねらい：
- 地図の見方や表し方を地図遊びを通して学び、地域にある店や公園施設、畑などを地図上に記入する。
- 他教科（社会等）との関連をはかりながら興味をもち、すすんで課題を解決する能力を伸ばす。

【４月下旬～５月上旬】<課題の設定>

社会科の学習と並行して、保谷第一小学校の周りの様子を調べることから地域を知ることを始めました。普段見慣れている景色や土地も、地域巡りをすることで、新たな発見や気付きを得ることができました。

【学校屋上から見る地域】（東西南北を眺めて）

【学区域に残る文化財】（「天神社」境内）

【地産地消　畑や直売所】（農のアカデミー）

【豊かな自然　公園】（保谷北町緑地保全地域）

【５月中旬～６月中旬】<整理・分析>

「西東京カルタ」出張授業

地域巡りで訪れた場所、お店や施設、公園などを社会科の学習の中で地図に記入しまとめていきました。

方位（東西南北）によって、保谷地域の中でもそれぞれ特徴が見られたり、他地域と比べたりすることで、自分たちが生活する下保谷周辺のよさに気付き、愛着をもつ児童もいました。「地図の見方」を平行して学びながら、地域の特徴を掴んでいきました。

【６月下旬～】<まとめ・表現>

「理想の町を作ろう」というテーマで、「生活に必要な施設」「あったらいいなと思う施設」について話し合い、形にしました。

社会と共に学んだ「公共施設」の必要性や、生活するのに欠かせないお店など、表現する形は違えども、下保谷地域のよさにインスパイアされながら、何より児童が楽しんで「理想の町」を制作する姿に主体性を感じました。

まとめ

２年生の町探検とはまた一味違った地域巡り。下保谷周辺の土地の特徴に視点を置きながら、「地図」に表されるふるさとの様子は、３年生になった児童たちにとって多くの再発見がありました。社会科の学習と関連付けることで、他地域と比較する機会も多くなり、より一層保谷第一小学校周辺地域に対する愛着が増していった様子でした。

また、「西東京カルタ制作委員会」の方々による「西東京カルタ」の説明から、西東京市の歴史や風土を学びつつ、西東京市民が中心となって作成した作品の数々に、楽しみながら触れることができました。